

事業報告書

(平成 22 年度)

〔 目 次 〕

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

- 1 J1リーグ戦
- 2 J2リーグ戦
- 3 リーグカップ戦
- 4 第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会
- 5 スーパーカップ
- 6 オールスター
- 7 チャリティーマッチ

② 公式記録の作成、管理及び運用

- 1 試合記録
- 2 映像
- 3 静止画像

③ 表彰

- 1 J.LEAGUE AWARDS(表彰式)の開催
- 2 リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績に対する表彰
- 3 その他の表彰

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

- 1 Jリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂
- 2 規約規程集の発行

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

- 1 プロサッカー選手の資格認定及び登録
- 2 プロサッカー選手及びコーチのための研修会等の開催
- 3 Jリーグ アカデミーの推進
 - (1) 選手一貫教育の実施
 - (2) 研修会等の実施
 - (3) 育成年代の試合環境整備の推進
 - (ア) Jユースカップ
 - (イ) Jリーグ U-16チャレンジリーグ
 - (ウ) Jリーグ U-14
 - (エ) Jリーグ U-13
 - (オ) Jリーグ U-12フェスティバル
 - (4) 地域とのネットワークづくり活動の促進
 - (5) 育成年代における医科学活動
 - (6) 試合分析等
- 4 プロサッカーの監督及びコーチの養成及び登録
- 5 プロサッカーの審判員の養成及び登録
- 6 レフェリング分析のインターネット配信

② マッチコミッショナーの任命

4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

- 1 スタジアム施設の検査、公式試合開催指定スタジアムの指定
- 2 用具の認定

5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及

① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約

- 1 テレビ放送等に関する契約

6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導

① 各種委員会等による研修の実施

- 1 管理スタッフ教育のための研修
- 2 サッカーに関する情報収集のための研修

② ドーピングテストの実施

- 1 ドーピングテストの実施

③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究

- 1 セキュリティ研究会の開催
- 2 スタジアムプロジェクトの実施

④ クラブ経営状態の調査及び指導

⑤ 準加盟クラブの資格審査及び指導

⑥ 試合の観客増員を狙いとした施策の実施及びクラブ支援

⑦ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施

- 1 マーケティング調査研究の実施
- 2 マーケティング研修会等の実施

⑧ リーグ構造及びクラブライセンス制度導入に関する調査、研究

- 1 リーグ構造に関する調査、研究
- 2 クラブライセンス制度導入に関する調査、研究

7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

- 1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施
- 2 プロサッカー選手のキャリアデザイン支援及び登録抹消選手のセカンドキャリアへの支援

8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

- 1 国際大会への参加
- 2 国際親善試合の実施
- 3 国際交流試合の実施

9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進

- 1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー
- 2 地域スポーツ振興への支援
- 3 地域ボランティア活動への支援
- 4 女子サッカー普及への支援

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

- 1 プロサッカーの試合開催の告知
- 2 Jリーグの理念の告知
- 3 Jリーグに関する広報誌、DVDの発行
- 4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びインターネットによる情報提供
- 5 Jリーグに関する出版物の発行
- 6 Jリーグに関する情報サービス
- 7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

11) その他目的を達成するために必要な事業

① プロサッカーに関するスポンサー及びサプライヤー契約

- 1 スポンサー及びサプライヤー契約

② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

- 1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売

- 1 商標の登録、管理
- 2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の制作販売
- 3 データ事業

④ コンプライアンス体制の構築

- 1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス憲章、規程、マニュアルの策定
- 2 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立
- 3 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス研修、教育の実施

⑤ その他目的を達成するために必要な事業

- 1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画
- 2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務

平成22年度事業報告書

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

-1 J1リーグ戦

J1会員18クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は5,638,894人、1試合平均は18,428人であった。

開催期間	3月6日(土)～12月4日(土) 主に土曜日または水曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦 全306試合
出場クラブ	J1会員18クラブ
成績	優勝 名古屋グランパス 2位 ガンバ大阪 3位 セレッソ大阪 4位 鹿島アントラーズ 5位 川崎フロンターレ 6位 清水エスパルス 7位 サンフレッチェ広島 8位 横浜F・マリノス 9位 アルビレックス新潟 10位 浦和レッズ 11位 ジュビロ磐田 12位 大宮アルディージャ 13位 モンテディオ山形 14位 ベガルタ仙台 15位 ヴィッセル神戸 16位 FC東京 17位 京都サンガF.C. 18位 湘南ベルマーレ

-2 J2リーグ戦

J2会員19クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は2,290,082人、1試合平均は6,696人であった。

開催期間	3月6日(土)～12月4日(土) 主に土曜日または水曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦、全342試合
出場クラブ	J2会員19クラブ
成績	優勝 柏レイソル 2位 ヴァンフォーレ甲府 3位 アビスパ福岡 4位 ジェフユナイテッド千葉 5位 東京ヴェルディ 6位 横浜FC 7位 ロアッソ熊本

- 8位 徳島ヴォルティス
- 9位 サガン鳥栖
- 10位 栃木SC
- 11位 愛媛FC
- 12位 ザスパ草津
- 13位 コンサドーレ札幌
- 14位 FC岐阜
- 15位 大分トリニータ
- 16位 水戸ホーリーホック
- 17位 ファジアーノ岡山
- 18位 カターレ富山
- 19位 ギラヴァンツ北九州

-3 リーグカップ戦

J1会員18クラブが参加。その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は571,570人、1試合平均は10,392人であった。

大会名	2010 Jリーグヤマザキナビスコカップ
開催期間	<u>予選リーグ</u> 1節 3月31日(水) 2節 4月14日(水) 3節 5月22日(土) 4節 5月26日(水) 5節 5月29日(土)、30日(日) 6節 6月5日(土)、6日(日) 7節 6月9日(水) <u>決勝トーナメント</u> 準々決勝 第1戦 9月1日(水) 第2戦 9月8日(水) 準決勝 第1戦 9月29日(水) 第2戦 10月10日(日) 決勝 11月3日(水・祝)
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム 決勝：東京・国立競技場
大会方式	<u>予選リーグ</u> J1参加14クラブを2グループに分け、グループ内で一回戦総当りの予選リーグを実施。AFCチャンピオンズリーググループステージ出場の4クラブ(鹿島アントラーズ、川崎フロンターレ、ガンバ大阪、サンフレッチェ広島)は予選リーグをシード。 <u>決勝トーナメント</u> 各グループ2位までの4クラブ及びシードの4クラブによる計8クラブが決勝トーナメントに進出。
出場クラブ	J1会員18クラブ
成績	優勝 ジュビロ磐田 2位 サンフレッチェ広島 3位 川崎フロンターレ、清水エスパルス MVP 前田 遼一(ジュビロ磐田) ニューヒーロー賞 高萩 洋次郎(サンフレッチェ広島)

-4 第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会

開催期間	1回戦	9月3日(金)
	2回戦	9月5日(日)
	3回戦	10月9日(土)、11日(月・祝)、13日(水)
	4回戦	11月17日(水)
	準々決勝	12月25日(土)
	準決勝	12月29日(水)
	決勝	2011年1月1日(土・祝)
開催場所	全国のスタジアム	
大会方式	トーナメント方式	
出場クラブ	J1:18チーム J2:19チーム 第12回JFL前期の上位3チーム 第34回総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会優勝チーム 都道府県代表47チーム	
成績	優勝	鹿島アントラーズ
	準優勝	清水エスパルス
	3位	FC東京、ガンバ大阪

-5 スーパーカップ

日本サッカー界の2大タイトルを制したクラブの対戦による公式試合を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。なお、入場者実数は35,963人であった。

大会名	FUJI XEROX SUPER CUP 2011
開催期日	2011年2月26日(土)
開催場所	神奈川・日産スタジアム
大会方式	2010Jリーグチャンピオン(名古屋グランパス) vs 第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝(鹿島アントラーズ)
結果	名古屋グランパス(1-1(PK3-1)) 鹿島アントラーズ
成績	優勝 名古屋グランパス 準優勝 鹿島アントラーズ

-6 オールスター

今年度は開催なし。

-7 チャリティーマッチ

2011年3月11日に発生した東日本大震災の復興支援活動の一環として(財)日本サッカー協会と共催のチャリティーマッチを有料で開催した。入場者実数は40,613人であった。

大会名	東北地方太平洋沖地震復興支援チャリティーマッチ がんばろうニッポン!
開催期日	2011年3月29日(火)
開催場所	大阪長居スタジアム
対戦カード	SAMURAI BLUE(日本代表) vs Jリーグ TEAM AS ONE(Jリーグ選抜)
結果	SAMURAI BLUE(2-1) Jリーグ TEAM AS ONE

② 公式記録の作成、管理及び運用

-1 試合記録

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の記録の作成及び収録、保管及び管理、試合速報等の販売を(株)Jリーグメディアプロモーションに委託し行った。

(業務委託先：(株)Jリーグメディアプロモーション…(株)Jリーグメディアプロモーションは、データスタジアム(株)と協力してJリーグデータセンター運営業務を行った。)

-2 映像

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の映像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理を(株)Jリーグメディアプロモーションに委託し行った。

-3 静止画像

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式行事及び公式行事の静止画像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理をJリーグフォト(株)に委託し行った。

③ 表彰

-1 J.LEAGUE AWARDS(表彰式)の開催

行事名	2010 Jリーグアウォーズ
開催期日	12月6日(月)
開催場所	東京・JCBホール(東京ドームシティMEETS PORT内)
受賞者	(1) 最優秀選手賞 檜崎 正剛(名古屋)
	(2) ベストイレブン 檜崎 正剛(名古屋)、田中 マルクス闘莉王(名古屋)、増川 隆洋(名古屋)、槇野 智章(広島)、中村 憲剛(川崎F)、マルシオ リシャルデス(新潟)、藤本 淳吾(清水)、ダニエルソン(名古屋)、遠藤 保仁(G大阪)、前田 遼一(磐田)、ケネディ(名古屋)
	(3) 優秀選手賞 <u>GK(2名)</u> 曾ヶ端 準(鹿島)、檜崎 正剛(名古屋)
	<u>DF(9名)</u> 新井場 徹(鹿島)、岩政 大樹(鹿島)、今野 泰幸(F東京)、栗原 勇蔵(横浜FM)、阿部 翔平(名古屋)、田中 マルクス闘莉王(名古屋)、増川 隆洋(名古屋)、茂庭 照幸(C大阪)、槇野 智章(広島)
	<u>MF(9名)</u> 小笠原 満男(鹿島)、野沢 拓也(鹿島)、中村 憲剛(川崎F)、マルシオ リシャルデス(新潟)、藤本 淳吾(清水)、ダニエルソン(名古屋)、遠藤 保仁(G大阪)、家長 昭博(C大阪)、乾 貴士(C大阪)
	<u>FW(9名)</u> マルキーニョス(鹿島)、エジミウソン(浦和)、ラファエル(大

宮)、ジュニーニョ (川崎F)、岡崎 慎司 (清水)、前田 遼一 (磐田)、ケネディ (名古屋)、玉田 圭司 (名古屋)、平井 将生 (G大阪)

- (4) 得点王
前田 遼一 (磐田)、ケネディ (名古屋)
- (5) ベストヤングプレーヤー賞
宇佐美 貴史 (G大阪)
- (6) フェアプレー賞 高円宮杯
サンフレッチェ広島
- (7) フェアプレー賞 J 1
モンテディオ山形、横浜F・マリノス
- (8) フェアプレー賞 J 2
(該当なし)
- (9) フェアプレー個人賞
槇野 智章 (広島)
- (10) 最優秀監督賞
ストイコビッチ (名古屋)
- (11) 最優秀主審賞
西村 雄一
- (12) 最優秀副審賞
相樂 亨
- (13) Jリーグベストピッチ賞
日産スタジアム、アウトソーシングスタジアム日本平
- (14) 功労賞
(該当者なし)
- (15) 功労選手賞
(該当者なし)
- (16) 最優秀育成クラブ賞
FC東京

表彰

- (1) 最優秀選手賞
ブック型楯、賞金2,000,000円、ゴールデンボールトロフィー、カリブ海クルーズペアの旅、アディダスオリジナルガラス製ボール型大皿トロフィー
- (2) ベストイレブン
ブック型楯、賞金1,000,000円、クリスタル・オーナメント
- (3) 優秀選手賞
記念メダル (18K)
- (4) 得点王
ブック型楯、賞金1,000,000円、ゴールデンシューズトロフィー、コカ・コーラ ゼロ ゴールドトロフィー、コカ・コーラ ゼロ 一年分、プラチナ/ダイヤモンドピンブローチ
- (5) ベストヤングプレーヤー賞
ブック型楯、賞金500,000円、オリジナル高級置き時計 (ティファニー製)、オリジナル純金メダル&ブック型表彰楯

- (6) フェアプレー賞 高円宮杯
高円宮杯、賞金 5,000,000円
- (7) フェアプレー賞 J1
賞金5,000,000円
- (8) フェアプレー賞 J2
記念品
- (9) フェアプレー個人賞
楯、賞金500,000円
- (10) 最優秀監督賞
ブック型楯、賞金1,000,000円、キャノンデジタルビデオカメラ iV I S H F M32、旅行券(100万円分)
- (11) 最優秀主審賞
ブック型楯、海外研修旅行、アディダスオリジナルフラッグ型ガラス製皿形トロフィー
- (12) 最優秀副審賞
ブック型楯、海外研修旅行、銀製アシスタントレフェリーフラッグシールド
- (13) Jリーグベストピッチ賞
ブック型楯
- (14) 功労選手賞
楯、腕時計
- (15) 最優秀育成クラブ賞
ブック型楯

-2 リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績に対する表彰

■2010 J1 リーグ戦

優勝	名古屋グランパス	賞金200,000,000円、Jリーグ杯(優勝銀皿)、日本サッカー協会会長杯、メダル、チャンピオンフラッグ
2位	ガンバ大阪	賞金100,000,000円、Jリーグ杯(準優勝銀皿)
3位	セレッソ大阪	賞金80,000,000円
4位	鹿島アントラーズ	賞金60,000,000円
5位	川崎フロンターレ	賞金40,000,000円
6位	清水エスパルス	賞金20,000,000円
7位	サンフレッチェ広島	賞金10,000,000円

■2010 J2 リーグ戦

優勝	柏レイソル	賞金20,000,000円、Jリーグ杯
準優勝	ヴァンフォーレ甲府	賞金10,000,000円、Jリーグ杯
3位	アビスパ福岡	賞金 5,000,000円

■2010 J リーグヤマザキナビスコカップ

優勝	ジュビロ磐田	賞金100,000,000円、Jリーグカップ(チェアマン杯)、ヤマザキナビスコカップ(スポンサー杯)、メダル
2位	サンフレッチェ広島	賞金50,000,000円、楯、メダル
3位	川崎フロンターレ	賞金20,000,000円、楯
3位	清水エスパルス	賞金20,000,000円、楯
MVP	前田 遼一(磐田)	賞金1,000,000円、クリスタルオーナメント、ヤマザキナビスコ製品1年分
ニューヒーロー賞	高萩 洋次郎(広島)	賞金500,000円、クリスタルオーナメント、ヤマザキナビスコ製品1年分

-3 その他の表彰

■FUJI XEROX SUPER CUP 2011

優勝	名古屋グランパス	賞金30,000,000円、ゼロックス スーパーカップ、メダル
準優勝	鹿島アントラーズ	賞金20,000,000円、メダル

■Jユースカップ2010 第18回Jリーグユース選手権大会

優勝	横浜F・マリノスユース	Jユースカップ、朝日・日刊杯、金メダル
準優勝	FC東京U-18	朝日・日刊杯、銀メダル
3位	東京ヴェルディユース	朝日・日刊杯
	京都サンガF.C. U-18	朝日・日刊杯

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

-1 Jリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂

定款の内容を補完することを目的とするリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂作業を行った。

■諸規程の追加及び変更(主な変更内容)

- ・ Jリーグ規約… [専門委員会] マーケティング委員会を新設した。
- ・ 専門委員会規程… 新設されたマーケティング委員会の所管事項を設けた。
 - (1) リーグマーケティングに関する制度の検討・立案
 - (2) スポンサー契約に関する事項の検討・立案
 - (3) テレビ・ラジオ等公衆送信権に関する事項の検討・立案
 - (4) 商品化事業に関する事項の検討・立案
 - (5) その他権利ビジネスに関する事項の検討・立案
- ・ Jリーグ試合実施要項… [公式記録] 入場者数の算定方法について規定した。
入場者数は実際にスタジアムに来場した観客の数とし、以下の各号の合計をもって算

定する。

- (1) 入場口から来場した観客で、以下に該当する者
 - イ. 入場券を保有している者
 - ロ. 入場券を保有していない未就学児童
- (2) 入場口以外から来場した観客で、以下に該当する者
 - イ. 車椅子観戦者およびその付添人
 - ロ. VIP席の観客

-2 規約規程集の発行

定款、規約及び諸規程、試合実施要項等を記載した規約規程集を作成し、サッカー関係者、メディア等を対象に有料で発行した。

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

-1 プロサッカー選手の資格認定及び登録

本リーグのプロサッカー選手を対象に、(財)日本サッカー協会発行の選手契約書等による契約など資格要件に沿って選手登録を行った。

-2 プロサッカー選手及びコーチのための研修会等の開催

初めてプロ契約を締結する対象に新人研修会を実施するほか、Jリーグの理念の訴求やルール徹底のため、全選手を対象に講習会を行った。

研修会名	2011 Jリーグ新人研修会
開催期日	2011年2月1日(火)～3日(木)
対象者	2011年のJ1及びJ2会員クラブの新加入選手及び、前回まで新人研修会に参加していない新加入選手
会場	静岡・ヤマハリゾートつま恋

研修会名	ルール講習会
開催期日	2011年1～2月
対象者	J1及びJ2会員クラブの選手、監督、コーチ等
会場	J1及びJ2会員クラブのクラブハウスあるいは合宿地

-3 Jリーグ アカデミーの推進

育成年代の一貫指導体制、リーグ戦、指導者養成、トレーニング環境、メディカル体制の充実を図り、そのノウハウを広く共有した。

- ・各クラブがホームタウンで実施している子どもたちの人間性や社会性を育む活動を推進し、地域とのネットワークづくりをサポートした。
- ・変動する現代社会に左右されがちな子どもたちの発育を医科学的に分析し、国民の心身の健全な発達に寄与するよう努めた。

(1) 選手一貫教育の実施

Jクラブのアカデミーの選手育成のため、サッカーの技術面だけでなく、子どもたちの問題解決能力や考える力を引き出す等、人間性や社会性を育む活動を行った。

(2) 研修会等の実施

Jクラブの育成責任者（アカデミーダイレクター）及びコーチの養成を目的とした研修会を実施した。また、世界で活躍する選手の育成を目的として、Jクラブのアカデミーよりポテンシャルの高い選手を選抜し、強化トレーニングを実施した。

・ Jリーグ アカデミーダイレクター マネジメント研修

開催日 第1回／2011年1月26日（水）～27日（木）

第2回／2011年2月26日（土）～27日（日）

対象者 J1及びJ2会員クラブの育成責任者（アカデミーダイレクター）

会場 JFAハウス他

・ Jリーグ アカデミーコーチ研修

開催日 全37クラブを2グループに分け年間3回実施

第1回 ①5月31日（月）～6月4日（金）

②5月17日（月）～21日（金）

第2回 ①9月27日（月）～10月1日（金）

②10月18日（月）～22日（金）

第3回 ①2011年2月28日（月）～3月4日（金）

②2011年3月7日（月）～11日（金）

対象者 J1及びJ2会員クラブのアカデミーコーチ

・ Jリーグ U-14 トレーニングキャンプ

開催日 全37クラブを2グループに分け実施

① 6月10日（木）～13（日）

② 6月17日（木）～20日（日）

③ 対象者 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

(3) 育成年代の試合環境整備の推進

1人でも多くの優秀な選手を輩出するために、育成年代の試合環境の整備を推進した。

(ア) ジュースカップ

高校生年代の第2種選手育成のため、J1会員18クラブ及びJ2会員16クラブ、日本クラブユースサッカー連盟代表4クラブの参加によるJユースカップを無料で開催した。

大会名 Jユースカップ2010 第18回Jリーグユース選手権大会

開催期間 予選リーグ

7月3日（土）～11月23日（火・祝）

決勝トーナメント

1回戦 12月5日（日）

2回戦 12月11日（土）、12日（日）

準々決勝 12月19日（日）

準決勝 12月23日（木・祝）

決勝 12月26日（日）

開催場所 予選リーグ

主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等

決勝トーナメント

1回戦 西が丘サッカー場／J-GREEN堺

2回戦	出場クラブホームスタジアム等
準々決勝	ウェーブスタジアム刈谷、 長居第2陸上競技場
準決勝	大阪長居スタジアム
決勝	大阪長居スタジアム
大会方式	<u>予選リーグ</u> 参加クラブを8グループに分け、各グループ内でホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦 <u>決勝トーナメント</u> 予選リーグを通過した16チームに、日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームを加えた合計20チームによるトーナメント戦
出場クラブ	J1会員18クラブ、J2会員16クラブ 日本クラブユース連盟代表4クラブ（決勝トーナメントより）
成績	<u>予選リーグ</u> Aグループ 1位 柏レイソルU-18 2位 ジェフユナイテッド千葉U-18 3位 ヴァンフォーレ甲府U-18 4位 ベガルタ仙台ユース Bグループ 1位 東京ヴェルディユース 2位 大宮アルディージャユース 3位 横浜FCユース 4位 浦和レッズユース 5位 ザスパ草津U-18 Cグループ 1位 FC東京U-18 2位 コンサドーレ札幌U-18 3位 川崎フロンターレU-18 4位 水戸ホーリーホックユース 5位 栃木SCユース Dグループ 1位 横浜F・マリノスユース 2位 湘南ベルマーレユース 3位 鹿島アントラーズユース 4位 モンテディオ山形ユース Eグループ 1位 セレッソ大阪U-18 2位 ジュビロ磐田ユース 3位 アビスパ福岡U-18 4位 FC岐阜U-18 Fグループ 1位 サンフレッチェ広島 F.Cユース 2位 愛媛FCユース 3位 大分トリニータU-18 4位 徳島ヴォルティスユース Gグループ 1位 アルビレックス新潟ユース 2位 ヴィッセル神戸U-18 3位 名古屋グランパスU-18

	4位	サガン鳥栖U-18
Hグループ	1位	京都サンガF.C. U-18
	2位	清水エスパルスユース
	3位	ガンバ大阪ユース
	4位	ロアッソ熊本ユース
成績（決勝トーナメント）	優勝	横浜F・マリノスユース
	準優勝	FC東京U-18
	3位	東京ヴェルディユース
		京都サンガF.C. U-18

(イ) Jリーグ U-16チャレンジリーグ

※東日本大震災の影響により全試合を中止した。

開催予定期日	2011年3月19日（土）～27日（日）
開催予定場所	堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター他
予定大会方式	各会場の参加チームによる 総当りリーグ戦
出場予定クラブ	J1及びJ2会員の第2種を保有するクラブのうち31クラブ。

(ウ) Jリーグ U-14

開催期間	4月～2011年3月
開催場所	各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式	参加クラブを3ブロックに分け、ホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦を実施した。 ※東日本大震災の影響を受け22試合中止。
出場クラブ	J1会員、J2会員クラブのジュニアユースチームと日本クラブユースサッカー連盟所属チーム（計44チーム）

(エ) Jリーグ U-13

開催期間	4月～2011年3月
開催場所	各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式	参加クラブを5ブロックに分け、ブロック別に大会方式を決定し、実施した。 ・ ホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦 ・ ホームorアウェイ方式による1回戦総当たりリーグ戦 ※東日本大震災の影響を受け64試合中止。
出場クラブ	J1会員、J2会員クラブのジュニアユースチーム、日本クラブユースサッカー連盟所属チーム、(財)日本中学校体育連盟所属の中学校チーム（計117チーム）

(オ) Jリーグ U-12フェスティバル

開催期間	8月3日（火）～8月27日（金）
開催場所	全国6箇所
活動内容	サッカー、自然体験、ASEプログラム等
参加クラブ	J1及びJ2会員クラブ 他

(4) 地域とのネットワークづくり活動の促進

各クラブが主体となり、サッカーを「する」「見る」「支える」というさまざまな参

加スタイルを提案し、誰もがサッカーを楽しみ、サッカーが生涯スポーツとして定着していけるような普及活動を促進した。

(5) 育成年代における医科学活動

育成年代の選手のフィジカル測定データを集約し、分析した。

(6) 試合分析等

国内外の各年代の試合視察及び分析を行った。

-4 プロサッカーの監督及びコーチの養成及び登録

Jリーグ規約に従って、Jクラブの監督及びコーチの資格要件を確認し、Jリーグへの登録を行うとともに、Jクラブが新規に契約する外国人監督の資格審査申請の窓口となり、(財)日本サッカー協会の承認を受け、Jリーグへの登録を行った。また、(財)日本サッカー協会の各種指導者研修会、監督会議等を開催し、指導者の育成や技術指導を行った。

研修会名 2010(平成22)年度(財)日本サッカー協会公認S級コーチ養成講習会

開催期日 8月～11月

対象者 (財)日本サッカー協会が選定した指導者

会場 福島・Jヴィレッジ他

研修会名 2010(平成22)年度(財)日本サッカー協会公認A級コーチジェネラル養成講習会

開催期日 6月～12月、3コース開催

対象者 (財)日本サッカー協会が選定した指導者

会場 福島・Jヴィレッジ他

研修会名 2010(平成22)年度(財)日本サッカー協会公認B級コーチ養成講習会

開催期日 6月～2011年1月、15コース開催

対象者 (財)日本サッカー協会が選定した指導者

会場 福島・Jヴィレッジ他

研修会名 監督会議

開催期日 2011年2月25日(金)

対象者 J1及びJ2会員クラブの監督

会場 東京・グランドプリンスホテル新高輪

-5 プロサッカーの審判員の養成及び登録

Jリーグの主催試合の審判員に対する資格要件に沿って、主審、副審を登録した。また審判員の技術向上を目的として各種研修会を実施した。

研修会名 主審研修会(計3回)

開催期日 5月1日(土)・2日(日)※、8月7日(土)・8日(日)※、10月10日(日)

※分散開催

対象者	Jリーグ担当主審
会場	東京・JFAハウス
研修会名	副審研修会（計2回）
開催期日	9月4日（土）、2011年2月27日（日）
対象者	Jリーグ担当副審
会場	東京・横河武蔵野クラブハウス、神奈川・しんよこフットボールパーク
研修会名	Jリーグ担当審判員合同研修会（計3回）
開催期日	5月23日（日）、9月4日（土）、11月3日（水・祝）
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	大阪・堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター、東京・JFAハウス、国立競技場
研修会名	レフェリング分析
開催期日	J1・J2リーグ戦（J1・9回、J2・13回）
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	各地
研修会名	プロフェッショナル契約レフェリーキャンプ
開催期日	4月～12月、2011年2月～3月
対象者	プロフェッショナル契約レフェリー
会場	静岡・清水ナショナルトレーニングセンターJ-STEP、神奈川・しんよこフットボールパーク、日産フィールド小机、東京・JFAハウス、鹿児島・国分運動公園陸上競技場、他
研修会名	Jリーグ担当審判員開幕前研修会
開催期日	2011年2月26日（土）～27日（日）
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	神奈川・日産スタジアム、新横浜プリンスホテル内会議室
研修会名	審判員交換プログラム（国際親善試合への派遣）
相手国	イングランド
派遣期間	5月22日～5月26日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員3名
研修会名	審判員交換プログラム
相手国	イングランド
派遣期間	7月27日～8月17日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員2名
受入期間	7月14日～8月4日
受入審判員	イングランド審判員2名
研修会名	審判員交換プログラム

相手国	ポーランド
派遣期間	11月11日～11月28日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員3名
受入期間	10月6日～10月24日
受入審判員	ポーランド審判員3名

-6 レフェリング分析のインターネット配信

Jリーグ担当審判員のレフェリングの質を高めることを目的に、Jリーグ担当審判員に向けてインターネットを使用した情報配信を行った。

② マッチコミッショナーの任命

サッカーの試合の運営、競技、スタジアム施設等、試合における全てを管理するマッチコミッショナーを任命し、心得、任務に伴う諸事項の最終確認のため研修会を実施した。

研修会名	Jリーグマッチコミッショナー研修会
開催期日	7月19日(月・祝)
対象者	2010 Jリーグマッチコミッショナー
会場	東京・JFAハウス

研修会名	Jリーグマッチコミッショナー開幕前研修会
開催期日	2011年2月26日(土)～27日(日)
対象者	2011 Jリーグマッチコミッショナー
会場	神奈川・日産スタジアム、新横浜プリンスホテル内会議室

4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

-1 スタジアム施設の検査・公式試合開催指定スタジアムの指定

高水準のサッカーの試合及び試合運営を行うため、スタジアム検査要項に基づき、使用予定のスタジアムを検査し、公式試合開催指定スタジアムを指定した。

札幌ドーム、札幌厚別公園競技場、室蘭市入江運動公園陸上競技場、函館市千代台公園陸上競技場、ユアテックスタジアム仙台、宮城スタジアム、NDソフトスタジアム山形、県立カシマサッカースタジアム、ケーズデンキスタジアム水戸、笠松運動公園陸上競技場、栃木県グリーンスタジアム、正田醤油スタジアム群馬、埼玉スタジアム2002、さいたま市浦和駒場スタジアム、NACK5スタジアム大宮、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場、フクダ電子アリーナ、日立柏サッカー場、味の素スタジアム、国立競技場、西が丘サッカー場、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場、等々力陸上競技場、日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、平塚競技場、山梨中銀スタジアム、東北電力ビッグスワンスタジアム、富山県総合運動公園陸上競技場、石川県西部緑地公園陸上競技場、アウトソーシングスタジアム日本平、静岡スタジアム エコパスタジアム、ヤマハスタジアム(磐田)、名古屋市瑞穂陸上競技場、豊田スタジアム、岐阜メモリアルセンター長良川競技場、岐阜メモリアルセンター長良川球技メドウ、京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場、万博記念競技場、大阪長居スタジアム、キンチョウスタジアム、ホームズスタジアム神戸、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場、Kankōスタジアム、岡山県津山陸上競技場、広島ビッグアーチ、鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム、ニンジニアスタジアム、レベルファイブスタジアム、北九州市

立本城陸上競技場、ベストアメニティスタジアム、佐賀県総合運動場陸上競技場、熊本県民総合運動公園陸上競技場（KKWING）、熊本市水前寺競技場、大分銀行ドーム、鹿児島県立鴨池陸上競技場

-2 用具の認定

高水準のサッカーを行うため、モルテン製『JABULANI®』を公式試合の試合球として認定を行った。

5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及

① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約

-1 テレビ放送等に関する契約

リーグ戦その他公式試合のテレビ放送について、スカパーJ SAT（株）、NHK、TBS等と放送権契約を行った。

6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導

① 各種委員会等による研修の実施

-1 管理スタッフ教育のための研修

管理スタッフの教育・育成のため、各種委員会等で必要に応じ、国内外において研修を行った。

研修会名	チームドクター研修会
開催期日	7月11日（日）、2011年1月16日（日）
対象者	J1及びJ2会員クラブのチームドクター
会場	東京・JFAハウス

研修会名	アスレティックトレーナー研修会
開催期日	2011年1月8日（土）
対象者	J1及びJ2会員クラブのアスレティックトレーナー、フィジオセラピスト マッサージ
会場	東京・JFAハウス

研修会名	記録研修会
開催期日	7月10日（土）
対象者	J1及びJ2会員クラブの運営担当者、記録員他
会場	東京・JFAハウス

研修会名	ゼネラルマネージャー講習会
開催期日	4月19日（月）～2011年2月22日（火）の期間中11セッション
対象者	J1及びJ2会員クラブの経営に携わる者の中から選出された12名
会場	JFAハウス他

研修会名	広報研修会
開催期日	7月3日（土）
対象者	J1及びJ2会員クラブの広報新担当者
会場	神奈川・平塚競技場

研修会名	運営研修会
------	-------

開催期日 7月9日(金)、10日(土)
対象者 J1及びJ2会員クラブの運営担当者他
会場 東京・JFAハウス

-2 サッカーに関する情報収集のための研修

サッカー及びそれに伴う事業に関する情報収集のため、国内外において研修や調査を実施した。

② ドーピングテストの実施

-1 ドーピングテストの実施

選手が薬物の使用等により不正に競技能力を高めることを防止するため、Jリーグの公式試合においてドーピングテストを実施した。

③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究

-1 セキュリティ研究会の開催

試合運営に必要な危機管理・安全管理に関する情報の共有及び調査研究を目的とし、研究会を開催した。

開催期日 2011年2月9日(水)
対象者 J1及びJ2会員クラブのセキュリティ担当者
研修先 東京・JFAハウス

-2 スタジアムプロジェクトの開催

クラブや地方公共団体等が今後サッカースタジアムを設置または改修しようとする際の調査、企画等に協力し、具体的な助言、提案を行った。
また、スタジアムの新設、大規模改修を計画しているクラブを対象として、欧州の先進施設を視察した。

■ Jリーグスタジアムプロジェクト欧州視察

開催期間 10月15日(金)～10月26日(火)
対象者 Jクラブのうち、ホームスタジアムの新設、大規模改修を具体的に検討しているクラブのスタジアム担当者等
訪問先 ドイツ、スイス、英国

④ クラブ経営状態の調査及び指導

主として経営諮問委員会によりクラブ経営に関する調査・分析を行い、健全なクラブ経営を確立するための指導をした。また、経営状況が悪化したクラブへの調査、指導を強化した。

⑤ 準加盟クラブの資格審査及び指導

将来Jリーグ会員になることを具体的な目標とするクラブより申請を受け、審査した結果、一定の基準を満たしたと判断し、準加盟クラブを認定した。また、準加盟クラブの経営を確立するための指導を行った。更に、Jリーグ準加盟を目指すクラブ向けに、セミナーを開催した。

■今年度認定準加盟クラブ： カマタマーレ讃岐

■既認定準加盟クラブ： F C町田ゼルビア、 S. C.相模原、松本山雅F C
V・ファーレン長崎

セミナー名 Jリーグ準加盟を目指すクラブ向け「Jリーグセミナー」
開催期日 10月8日（金）
対象者 「Jリーグ準加盟クラブ」への申請を予定しているクラブ関係者
会場 東京・JFAハウス

⑥ 試合の観客増員を狙いとした施策の実施及びクラブ支援

試合の観客増員を狙いとした施策（イレブンミリオンプロジェクト）の実施及びクラブ支援として会議および研修会を開催した。

研修会名 イレブンミリオン担当会議
開催期間 6月3日（木） 全体会議
11月4日（水） 全体会議
対象者 J1及びJ2会員クラブのイレブンミリオン担当者
会場 東京・JFAハウス

⑦ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施

-1 マーケティング調査研究の実施

Jリーグ及びJクラブのマーケティング活動を支援・促進するための調査研究を行った。

調査内容 スタジアム観戦者調査
調査期間 5月～10月
調査協力者 仲澤 眞、高橋 義雄（以上、筑波大学）、原田 宗彦（早稲田大学）、
藤本 淳也（大阪体育大学）
調査実施場所 リーグ戦開催スタジアム

-2 マーケティング研修会等の実施

効果的なマーケティング活動を展開するため、リーグならびにクラブのスタッフを対象とした研修会等を実施した。

研修会名 スタジアム観戦者調査報告会
開催期日 2011年2月3日（木）
対象者 J1及びJ2会員クラブのファンディベロップメント担当者
担当者 仲澤 眞（筑波大学）
会場 東京・JFAハウス

⑧ リーグ構造及びクラブライセンス制度導入に関する調査、研究

-1 リーグ構造に関する調査、研究

Jリーグの将来的なリーグ構造を検討するため、他国の状況に関する資料調査を行った。

-2 クラブライセンス制度導入に関する調査、研究

クラブライセンス制度の制度設計のため、他国の状況を含めた調査を行い、「Jリーグクラブライセンス交付規則」および付随する運用細則の草案を作成した。

7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

-1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施

プロサッカー選手を対象に、福利厚生事業の一環として死亡及び後遺障害に対し、Jリーグ災害補償制度に基づくファミリー労働災害補償保険の付保を行った。

-2 プロサッカー選手のキャリアデザイン支援及び登録抹消選手のセカンドキャリアへの支援

Jリーグキャリアサポートセンターが、プロサッカー選手が自らのキャリアを築くための環境整備を行い、キャリア形成支援活動を行った。

- ・ 「新人研修」の実施に向け、研修プログラムの検討、調整を行い、J1及びJ2会員クラブの新加入選手に対する教育、研修施策を展開した。
- ・ 新人選手対象に、クラブの仕事理解のためにクラブ内インターンシップを実施、また、加入3年目までの若手選手を対象に、ホームタウン活動を中心としたクラブの様々な活動を選手教育の場とした、教育、研修施策を展開した。
- ・ アカデミー選手を対象に、プロサッカー選手意識醸成を目的とした研修を実施した。
- ・ Jリーグ各クラブの持つ選手教育ノウハウをナレッジマネジメントすることで、選手教育システムの確立を目指した。
- ・ 選手向け就学支援制度を策定・運営し、学ぶ意欲の高い選手に対して支援金の援助を行った。
- ・ Jリーグ登録抹消選手のセカンドキャリア支援として、キャリアカウンセリングを実施した。

8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

-1 国際大会への参加

■ AFCチャンピオンズリーグ2010

アジアサッカー連盟主催のAFCチャンピオンズリーグ2010に、鹿島アントラーズ（2009 Jリーグ優勝）、川崎フロンターレ（2009 Jリーグ準優勝）、ガンバ大阪（2009 Jリーグ3位、第89回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝）及びサンフレッチェ広島（2009 Jリーグ4位）がグループステージから出場した。

グループマッチ： グループE

期日	対戦・結果	場所
2月23日（火）	城南一和(韓国) 2 vs 0 川崎フロンターレ(日本)	炭川スポーツコンプレックス(城南)
3月9日（火）	川崎フロンターレ(日本) 1 vs 3 北京国安(中国)	等々力陸上競技場
3月23日（火）	川崎フロンターレ(日本) 4 vs 0 ムボルン・ビクトリー(オーストラリア)	等々力陸上競技場
3月31日（水）	ムボルン・ビクトリー(オーストラリア) 1 vs 0 川崎フロンターレ(日本)	エティハドスタジアム(メルボルン)
4月14日（水）	川崎フロンターレ(日本) 3 vs 0 城南一和(韓国)	等々力陸上競技場
4月28日（水）	北京国安(中国) 2 vs 0 川崎フロンターレ(日本)	北京工人体育场(北京)

グループマッチ： グループF

期日	対戦・結果	場所
2月23日 (火)	鹿島アントラーズ(日本) 1 vs 0 長春亜泰(中国)	県立カシマサッカースタジアム
3月9日 (火)	全北現代(韓国) 1 vs 2 鹿島アントラーズ(日本)	全州ワールドカップスタジアム(全州)
3月24日 (水)	鹿島アントラーズ(日本) 5 vs 0 ヘルシブラ・ジャブラ(インドネシア)	県立カシマサッカースタジアム
3月30日 (火)	ヘルシブラ・ジャブラ(インドネシア) 1 vs 3 鹿島アントラーズ(日本)	ケロ・ブンカルスタジアム(ジャカルタ)
4月14日 (水)	長春亜泰(中国) 0 vs 1 鹿島アントラーズ(日本)	長春経開体育场(長春)
4月28日 (水)	鹿島アントラーズ(日本) 2 vs 1 全北現代(韓国)	県立カシマサッカースタジアム

グループマッチ： グループG

期日	対戦カード	試合会場
2月24日 (水)	水原三星ブルーウイングス(韓国) 0 vs 0 ガンバ大阪(日本)	水原ワールドカップスタジアム(水原)
3月10日 (水)	ガンバ大阪(日本) 1 vs 1 河南建業(中国)	万博記念競技場
3月23日 (火)	シンガポール・アムド・フォース(シンガポール) 2 vs 4 ガンバ大阪(日本)	ジャラン・ベサル・スタジアム(シンガポール)
3月31日 (水)	ガンバ大阪(日本) 3 vs 0 シンガポール・アムド・フォース(シンガポール)	万博記念競技場
4月13日 (火)	ガンバ大阪(日本) 2 vs 1 水原三星ブルーウイングス(韓国)	万博記念競技場
4月27日 (火)	河南建業(中国) 1 vs 1 ガンバ大阪(日本)	航海路体育场(鄭州)

グループマッチ： グループH

期日	対戦カード	試合会場
2月24日 (水)	サンフレッチェ広島(日本) 0 vs 1 山東魯能(中国)	広島ビッグアーチ
3月10日 (水)	浦項スティーラーズ(韓国) 2 vs 1 サンフレッチェ広島(日本)	スティールヤード(浦項)
3月24日 (水)	アデレード・ユナイテッド(オーストラリア) 3 vs 2 サンフレッチェ広島(日本)	ハインドマーシュスタジアム(アデレード)
3月30日 (火)	サンフレッチェ広島(日本) 1 vs 0 アデレード・ユナイテッド(オーストラリア)	広島ビッグアーチ
4月13日 (火)	山東魯能(中国) 2 vs 3 サンフレッチェ広島(日本)	山東省体育中心体育场(済南)
4月27日 (火)	サンフレッチェ広島(日本) 4 vs 3 浦項スティーラーズ(韓国)	広島ビッグアーチ

ラウンド16 6月24日 (水)

期日	対戦・結果	試合会場
5月11日 (火)	城南一和(韓国) 3 vs 0 ガンバ大阪	炭川スポーツコンプレックス(城南)
5月12日 (水)	鹿島アントラーズ 0 vs 1 浦項スティーラーズ(韓国)	県立カシマサッカースタジアム

■AFCチャンピオンズリーグ2011

アジアサッカー連盟主催のAFCチャンピオンズリーグ2011に、名古屋グランパス(2010Jリーグ優勝)、ガンバ大阪(2010Jリーグ準優勝)、セレッソ大阪(2010Jリーグ3位)及び鹿島アントラーズ(2010Jリーグ4位、第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝)が出場した。

グループステージ：グループE

期日	対戦・結果	試合会場
3月1日（火）	ガンバ大阪 5 vs 1 ヴェルディ・ビクトリ（オーストラリア）	万博記念競技場
3月15日（火）	天津泰達（中国） 2 vs 1 ガンバ大阪	天津泰達球場(天津)

グループステージ：グループF

期日	対戦・結果	試合会場
3月1日（火）	杭州绿城（中国） 2 vs 0 名古屋グランパス	黄龙体育场(杭州)

グループステージ：グループG

期日	対戦・結果	試合会場
3月2日（水）	セレッソ大阪 2 vs 1 アレマ・インドネシア	大阪長居スタジアム
3月16日（水）	山東魯能（中国） 2 vs 0 セレッソ大阪	山東省体育中心体育场(済南)

グループステージ：グループH

期日	対戦・結果	試合会場
3月2日（水）	上海申花（中国） 0 vs 0 鹿島アントラーズ	虹口足球场(上海)

-2 国際親善試合の実施

Jリーグが主催となり、サッカー技術の向上のみならず、サッカーを通じて国際的な交流及び親善を図るため、国際親善試合を開催した。

期日	対戦・結果	試合会場
7月3日（土）	湘南ベルマーレ 1 vs 1 釜山アイパーク(韓国)	平塚競技場
7月4日（日）	ベガルタ仙台 0 vs 0 (PK3-2) 浦項スティーラーズ(韓国)	ユアテックススタジアム仙台

-3 国際交流試合の実施

Jクラブのアカデミーより選手を選抜し、サッカー技術の向上のみならず、サッカーを通じて国際的な交流及び親善を図るため、海外での試合並びに海外チームを招聘しての試合を実施した。

Jリーグ選抜(U-13)を編成し、海外キャンプを行った。

期間 8月1日（日）～6日（金）

場所 韓国／釜山

成績 【トレーニングマッチ】

Jリーグ選抜 (16-0) 慶南FC

Jリーグ選抜 (7-0) 蔚山現代

Jリーグ選抜 (6-3) 釜山アイパーク

Jリーグ選抜 (5-4) 機張中学

Jリーグ選抜(U-14)を編成し、海外キャンプを行った。

期間 8月24日（火）～8月31日（火）

場所 オランダ／レックルケルク及びティルブルグ

大会名 第17回 Audax-Willem II (ヴィレムII)

国際ユーストーナメント

大会成績	第2位（3勝1敗1分）
	Jリーグ選抜（0-0） ヴィレムⅡ/RKC
	Jリーグ選抜（1-0） ハンブルガーSV
	Jリーグ選抜（3-0） チェルシー
	Jリーグ選抜（2-2/PK 5-4） アーセナル
	Jリーグ選抜（0-2） ハンブルガーSV
	【トレーニングマッチ】
	Jリーグ選抜（9-0） エクセルシオール

	Jリーグ選抜（U-15）を編成し、海外キャンプを行った。
期間	8月24日（火）～9月2日（木）
場所	ブラジル/リオ・デ・ジャネイロ、ジーコ・サッカーセンター
大会名	第12回日伯友好カップ
大会成績	1勝2敗で予選リーグ敗退
	Jリーグ選抜（0-4） アトレチコミネイロ
	Jリーグ選抜（2-0） ボアビスタ
	Jリーグ選抜（1-5） バスコダガマ
	【トレーニングマッチ】
	Jリーグ選抜（6-2） ポルトゲーザ
	Jリーグ選抜（3-2） デュッケ ド カシアスU-16

9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進

-1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー

Jリーグの設立趣旨の具現化に向けた各クラブの活動状況の実状及び計画を調査し、それに基づいて、各クラブが関連自治体及び地域サッカー協会等と一体となって『地域に根ざしたスポーツクラブ作り』を行うよう指導するとともに、各クラブに対しその活動のための支援を行った。併せて、Jリーグ設立趣旨の全国への浸透を図った。

-2 地域スポーツ振興への支援

各クラブが主体となり、活動区域においてその地域のスポーツ振興のためにサッカー（一部除く）以外のスポーツを開催する場合、1行事につき200万円を上限として支援した。

クラブ名	行幸名	対象種目	参加対象者	開催期間	場所
札幌	2010コンサード札幌スポーツスクール in Fu's	登山、フットサル、カーリング、スキー、スノーボード、リュージュ、スケート、ゴルフ等	小学校3年生～6年生 男女50名	7月～2011年2月 (月2回)	札幌市藤野野外スポーツ交流施設および周辺地域
	2010コンサード札幌スキーアカデミー in キロロ	スキー	小学生	4月10日、11日	キロロスノーワールド
仙台	ベガルタ仙台・ソフトテニス教室及びソフトテニス指導者講習会	ソフトテニス	宮城県中学・高校ソフトテニス指導者ならびに中学・高校ソフトテニス選手	夏休み・冬休み期間 (2回)	宮城県内庭球場
	ベガルタ仙台・バリアフリーサッカー教室	障がい者サッカー (電動車椅子サッカー、バリアフリーサッカー、ブラインドサッカー、精神障がい者サッカー)	宮城県内の障がい者	5月～2011年1月	宮城県内
	ベガルタ仙台介護予防教室	健康体操教室、栄養講習会		5月～2011年3月	宮城県内
山形	女子駅伝支援事業	駅伝	教室：小学5、6年生～中学生	4月1日～ 2011年3月31日	山形県内、他全国
	モンテディオ山形 さわやかいきいきフィットネス教室	トレーニング、ウォーキング、グラウンドゴルフ、体操、体力測定など	60歳以上	5月～12月	山形県総合運動公園内施設、およびホームタウン自治体の地域施設
鹿島	第12回鹿島アントラーズ杯ミニバスケットボール大会	バスケットボール	小学生	12月11日、12日	茨城県鹿嶋市スポーツセンター
水戸	水戸ホーリーホック 女子ラグビー強化プロジェクト	女子ラグビー	小・中学生	5月1日～2011年2月28日 (月2回)	水戸市サッカー・ラグビー場(ツインフィールド)ほか
	第4回ホーリーカップハンディキャップサッカーフェスティバル	障がい者サッカー	小学生以上	8月8日	笠松運動公園球技場
	チアリーディング事業	チアリーディング	未就学児～小学生	4月～2011年3月	シダックス水戸西原
	水戸ホーリーホック 健康体操教室	体操、ストレッチ	水戸市近郊在住のシニア世代	6月～2011年1月 (隔週)	ケーズデンキスタジアム多目的室ほか
草津	ザスパ草津2010ファイトカップ群馬県知的障がい者サッカー大会	障がい者サッカー	群馬県内の養護学校生、養護学校卒業生または社会福祉施設利用者からなるチーム	7月25日	前橋市宮城総合運動場
	ザスパ草津介護予防事業「ボールを使った健康づくり教室」	体力測定、栄養指導、運動指導など	60歳以上の健康な方	7月21日～9月29日 毎週水曜日 (8月4日を除く)	前橋市民体育館
浦和	浦和レッズ フレンドリーフットサルリーグ	フットサル	[MIX]18歳以上で女性2名以上含む、 [OVER40]30歳以上で40歳以上2名含む	5月～12月 (期間中週2回)	レッズランド
	レッズランド テニススクール	テニス	キッズ(年中・年長)～一般	通年(週3回)	レッズランド内テニスコート
	レッズランド ランニングスクール	ランニング	レッズランド会員および小学生以上の地域住民など	4月3日、通年 (週1～2回) ※8月は開催なし	レッズランドハウス2F およびフィールド周辺エリア
大宮	第3回大宮アルディージャORANGE HAPPY SMILE CUP(埼玉県の障がい者サッカー大会)	サッカー	13歳以上の知的障がい者で療育手帳の交付を受け、県内に在住・および県内厚生援護施設に入所・通所・通学している者。	7月31日、8月1日	さいたま市秋葉の森総合公園サッカー場(7月31日) NACK5スタジアム大宮(8月1日)
	第4回大宮アルディージャ杯 グラウンド・ゴルフ大会	グラウンドゴルフ	さいたま市グラウンド・ゴルフ協会大宮支部の会員	2月11日	さいたま市昭和公園グラウンド
	高齢者向けストレッチ教室	ストレッチ	60歳以上	5月12日、5月20日、 6月15日、6月24日、 7月2日、7月7日、 7月16日、9月29日、 9月30日、10月19日 (年10回)	さいたま市内 各公民館
千葉	第11回 夏休み親子スポーツ合宿	サッカー、キャンプ、ゴルフ	小学生とその父母	8月1日～2日	ミルフィーユゴルフクラブ、 県立長生の森公園、 千葉県少年自然の家
	サッカー&フラッグフットボール	サッカー、フラッグフットボール	小学生	8月19日	フクダ電子スクエア
F東京	FC東京 バレーボールチームの年間活動	バレーボール	一般	通年	東京都内(普及活動)
	FC東京 シニアフットサル大会	フットサル、ストレッチ講座	40歳以上で構成した12チーム	10月9日 予定	上井草スポーツセンター
東京V	東京ヴェルディバレーボールチーム	バレーボール	一般	通年	東京都内
	東京ヴェルディトライアスロンチーム	トライアスロン	一般	通年	アクラブ稲城、その他
	第8回東京ヴェルディ稲城グリーン駅伝	駅伝	各種	5月5日	稲城中央公園総合グラウンド及びその周辺
川崎F	青空健康教室	ウォーキング、ピラティス、ヨガ、グラウンドゴルフなど	地域で生活する女性、中高齢者	週1～2回 (コースによって異なる)	フロンタウンさぎぬま
	味の素健康会館 プログラム	ダイエット&骨盤、ヨガ、空手、トレーニングジム		4月1日～ 2011年3月31日	味の素健康会館

横浜FM	横浜F・マリノス マリンスポーツチャレンジ	バドミントン、アウトリガーカヌー、スイムレース、ウィンドサーフィン、ビーチサッカーなど	小学生～一般	5月より定期開催	材木座海岸、由比ガ浜海岸ほか
	横浜F・マリノス フトゥーロ	障がい者サッカー		4月～2011年3月	MM21トレーニングセンター人工芝ピッチ、ラポール横浜体育館。MM21スポーツパークほか
湘南	湘南ベルマーレビーチバレーチーム	ビーチバレー	【チーム】選手 【大会・教室】小学生～一般	4月1日～ 2011年3月31日	湘南ひらつかビーチセンター ほか
	2010トライアスロン選手強化とトライアスロン、ラン、バイク、スイムのスクール指導	トライアスロン	【チーム】選手 【大会・教室】小学生～一般	4月1日～12月31日	湘南ひらつかビーチセンター、馬入ふれあい公園、萩野運動公園 ほか
	湘南ベルマーレ 女子ソフトボールチーム2010 およびスクール指導	ソフトボール	【チーム】選手 【大会・教室】小中学生	4月1日～ 2011年3月31日	厚木市を中心としたホームタウン 各市町およびリーグ戦開催地
	湘南ベルマーレ"ビーチサッカー2010"ビーチサッカー大会および教室の開催	ビーチサッカー	幼児～一般	4月1日～ 2011年3月31日	湘南ひらつかビーチセンター ほか
	2010年 オーシャンスイムスクール	オーシャンスイム	プールの100m以上泳げる高校生以上の健康な男女	5月15日～10月9日 (毎週土曜日)	湘南ひらつかビーチパーク
	ベルマーレカップ2010 第21回小学生駅伝競走大会	駅伝	ホームタウン内の小学4年生～6年生(保護者の承諾書が必要)	12月11日 予備日12月12日	平塚市総合公園
	2010年 健康づくり教室	ハイキング、ウォーキング	中高齢者	4月1日～2011年3月31日 (4会場・週1回・つづ)	馬入アリーナ体育館、厚木市東町体育館、小田急百貨店屋上、上府中公園 ほか
甲府	2010年度ハッピースポーツ教室	体力測定、サーキットゲーム、ボール遊び など	幼児、女性、学生、シニア、親子など	4月～2011年3月	県下全域
	精神障がい者サッカー教室	サッカー	精神障がい者	9月11日	山梨大学医学部グラウンド
	キャメリア ヘルスアップウォーキング	ウォーキング、体操、軽運動	県内60歳以上	4月1日～2011年3月31日	昭和町押原公園
	シニアわくわく健康運動教室	ストレッチ、体操、スポーツ観戦	甲府市、笛吹市、甲斐市、中央市に在住の60歳以上	9月～11月	甲府市緑が丘競技場、笛吹市石和清流公園芝生広場、甲斐市敷島運動公園、中央市山梨大学医学部グラウンド
新潟	アルビレックス新潟ゲートボール講習会	ゲートボール	中高齢者、小学生 ほか	5月～12月 ※8月は除く	エスフリー・フットサルコート、各学校、西区のゲートボール場
	第7回アルビレックス杯争奪ゲートボール大会	ゲートボール	新潟市内のゲートボール愛好会	9月6日	新潟中央運動公園南広場
	アルビレックス新潟×新潟アルビレックスRC 合同ランニング&ウォーキングクリニック	ランニング、ウォーキング	中学生以上の一般市民ランナー、ランニング初心者	4月～7月、9月～10月、2011年3月(計20回)	東北電力ビッグスワンスタジアムほか新潟県内各地
	アルビレックス新潟 フープクリニック	バスケットボール	経験者、未経験者、指導者	7月～12月	新潟県内
	アルビレックス新潟杯争奪ゲートボール大会	ゲートボール	新潟市を中心とし、県下各地のゲートボールチーム	6月4日	東北電力スワンフィールド
	アルビレックス新潟ビーチカーニバルin瀬波温泉	ビーチサッカー	【ジュニアカップ】小学生以下 【エンジョイカップ】中学生以上	6月20日	村上市瀬波温泉
	若返り健康運動&健康いきいきウォーキング～健康いきいきキャラバン隊～	ウォーキング、トレーニング、ストレッチ	中高齢者	9月～10月	新潟県健康づくりスポーツ科学センターほか新潟県内4会場
新潟 第1回 アルビレックス新潟フットサル交流会in佐渡	フットサル	佐渡市内および新潟県内の6年生以下の小学生	11月20日、21日	新穂中学校体育館	
清水 第26回清水マリンフェスティバル	ドラゴンボート、ヨット	海洋スポーツ愛好者、一般市民	7月18日	清水港 日の出岸壁前海域	
磐田 第13回ジュピロ磐田メモリアルマラソン	マラソン	小学生～一般	11月7日	磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ	
京都	京都サンガF.C. ビーチサッカーフェスタ2010 In 網野	ビーチサッカー	【小学生クラス】4年生以上の男女 【一般の部】中学生以上の男女	7月4日	網野町浜詰夕日ヶ浦海岸
	京都サンガF.C. タグラグビー&サッカー教室	タグラグビー、サッカー	小学生	2月26日	京都市室ヶ池球技場
	京都サンガF.C. ハンドボール・サッカー教室	ハンドボール、サッカー	小学生	9月19日	京都市立体育館
	第34回京都府家庭婦人バレーボール連盟 京都サンガF.C.カップ秋季リーグ戦	バレーボール	京都府家庭婦人バレーボール連盟登録チーム	9月～10月(9日間)	京都市立体育館 ほか
	京都サンガF.C. 健康アカデミー	ストレッチ、エクササイズ、健康生活指導	60歳以上	6月～2011年3月 (計5回)	京都市内および京都府下市町村

G大阪	精神障がい者サッカーアカデミー	障がい者サッカー	ホームタウンエリアに住む精神障がい者	4月1日～2011年3月31日	ガンバ大阪練習場 ほか
	精神障がい者バレーボール教室	障がい者バレーボール	ホームタウンエリアに住む精神障がい者	6月～7月のうち1日	パナソニックアリーナ
	ガンバボーイのストレッチ体操教室	ストレッチ体操	ホームタウンに住む60歳以上	4月1日～2011年3月31日(月2回・計24回)	ホームタウンの自治体施設およびガンバ大阪クラブハウス
G大阪	セレッソ大阪 元気でえ！プログラム	パワースタッフ、ストレッチ、体操、水中ウォーキング&エアロ など	市内在住のシニア	4月～10月(計8回)	東急スポーツオアシス鶴ヶ丘店、大阪長居スタジアム ほか
神戸	ヴィッセルカップバドミントンチャレンジ2010	バドミントン	兵庫県内在住の中学1・2年生の男女	2011年8月21日	甲南大学体育館
岡山	歩け歩けウォーキング	ウォーキング、ストレッチ指導	60歳以上 計350人	5月16日、9月、2011年3月	岡山市内
広島	平成22年度 スポーツスクールの開催	バドミントン、バスケットボール、テニス	小中学生の男女	4月1日～2011年3月31日(計42回)	ひろぎんの森、広島県スポーツ会館
	サンフレッチェ広島 グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ	グラウンドゴルフ愛好者	10月16日	広島広域公園陸上競技場(広島ビッグアリーナ) 第1・2球技場
愛媛	愛媛FC 精神障がい者サッカー教室&サッカー大会	障がい者サッカー	精神障がい者(医療機関で入院・通院治療中である者)	4月18日～2011年2月12日(計21回)	愛媛フットサルパーク
福岡	アビスパ福岡視覚障がい者サッカー支援活動	障がい者サッカー	視覚障がい者	4月1日～2011年3月31日	福岡県立福岡高等学校
	アビスパ福岡タグラグビーフェスタ	タグラグビー	県内小学生、小学4年生以上の児童	10月31日	福岡フットボールセンター
	第4回アビスパ杯争奪ドッジボール大会(アビドッジ)	ドッジボール	各校区子ども会の小学生会員	10月24日	福岡市東区東体育館
鳥取	第7回佐賀ビーチサッカーフェスティバル	ビーチサッカー	18歳以上の心身ともに健康な男女(18歳以下でも保護者の同意書があれば参加可)	2010年7月3日、4日	佐賀県唐津市 西の浜海水浴場
	サガン鳥取健康づくり教室	ストレッチ、エクササイズ、ウォーキング、レクリエーションなど	開催市を中心とした佐賀県内在住の60歳以上の男女	年度中に4回	佐賀県内(4か所)
大分	第4回佐賀ビーチサッカーフェスタ2010with大分トリニータ JAPAN BEACH SOCCER CHAMPIONSHIP 2010大分大会	ビーチサッカー	小学生以上	7月17日～18日 2日間	大分県東国東郡姫島村
	大分トリニータ 知的障がい者サッカーリーグ、教室	障がい者サッカー	【リーグ】知的障がいのある選手によって構成されたチームで大分県に本拠地を置いているチーム。【教室】臼杵養護学校・宇佐養護学校・大分県盲学校	通年	大分スポーツ公園人工芝 ほか
	大分トリニータ介護予防教室	ストレッチ、水中運動、体力測定	高齢者	5月～10月(月2回・計12回)	スポーツクラブルネサンス大分

-3 地域ボランティア活動への支援

各クラブが主体となり、(財) さわやか福祉財団の協力で活動区域の老人ホームを訪問するボランティア活動「サッカーさわやか広場」の支援を行った。

-4 女子サッカー普及への支援

FUJI XEROX SUPERCUP 2011 の付帯イベントとして、「ママ&キッズサッカー体験」、「レディース サッカー体験」を開催した。

開催期日 2011年2月26日(土)
会場 しんよこフットボールパーク

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

-1 プロサッカーの試合開催の告知

プロサッカーの試合の日時、対戦カード、開催会場等の告知をテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体を通じて行った。また、リーグ戦のプロモーションビデオを製作し、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知した。

-2 Jリーグの理念の告知

Jリーグの理念を伝えることを目的としたメッセージビデオ及びポスターを製作し、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知し、一般大衆に理念を浸透させた。また、Jリーグ百年構想のイメージキャラクター「Mr. ピッチ」を地域スポーツの振興活動に派遣し、PRを行った。

-3 Jリーグに関する広報誌、DVDの発行

Jリーグ及び各クラブの動向をサッカー関係者、メディア等に伝えることを目的とした広報誌「Jリーグニュース」、「Jリーグニュースプラス」、「Jリーグガイド」を発行し、上記関係者に無償配布した。

-4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びインターネットによる情報提供

Jリーグの活動、Jリーグにおける外国籍選手の活躍等の情報を海外のメディア、サッカー関係者に伝えることを目的とした英語版「Jリーグガイド」、「Jリーグニュース」を発行した。さらに、Jリーグの国際的な認知度を高めることを目的としてインターネット（英語版）にJリーグの情報を提供した。

-5 Jリーグに関する出版物の発行

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、大会趣旨、日程及びスタジアム紹介等プロサッカーに関する情報を掲載した「Jリーグオフィシャルファンズガイド2011」及び前年度の公式試合の記録集である「Jリーグイヤーブック2011（公式記録集）」を発行した。
- (2) 「Jリーグ公式DVD」（株）Jリーグメディアプロモーション発行）、「Jリーグカレンダー」（Jリーグフォト（株）発行）等の監修、Jリーグ主催試合の公式プログラム等の発行を行った。

-6 Jリーグに関する情報サービス

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、日程、チケット販売クラブ情報及びその他プロサッカーに関する情報サービスをインターネット公式ホームページ（委託先：（株）Jリーグメディアプロモーション）及び「J's GOAL（インターネット）」（委託先：（株）Jリーグメディアプロモーション）を通じて行った。
- (2) 「Jリーグオフィシャルファンズガイド2011」及び「Jリーグイヤーブック2011（公式記録集）」を主要メディアに無償で配布した。

-7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

Jリーグの理念及び活動、またサッカーという競技をメディア関係者により深く理解してもらうために、2011 Jリーグキックオフカンファレンスを実施した。また、各主要地域において懇談会を実施した。

11)その他目的を達成するために必要な事業

① プロサッカーに関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 スポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグの定款目的に賛同する企業等を対象に、Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。契約締結企業は以下のとおり。

■オフィシャルスポンサー

カルビー (株)、キヤノン (株) /キヤノンマーケティングジャパン (株)、(株) コナミデジタルエンタテインメント、(株) アイデム、マイラン製菓 (株)、(株) レオパレス21、(株) プレナス、日本コカ・コーラ (株)、東京エレクトロン (株)、日本マクドナルド (株)

■Jリーグ百年構想パートナー

朝日新聞社

■リーグカップスポンサー

ヤマザキナビスコ (株)

■スーパーカップスポンサー

富士ゼロックス (株)

■Jリーグオフィシャルエクイップメントパートナー

アディダスジャパン (株) / (株) モルテン

■Jリーグオフィシャルサプライヤー

ジョンソン・エンド・ジョンソン (株) ビジョンケアカンパニー

■Jリーグオフィシャルブロードキャスティングパートナー

スカパーJ S A T (株)

■スポーツ振興パートナー

独立行政法人日本スポーツ振興センター

■90° システム広告スポンサー

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ (株)、日本コカ・コーラ (株)

■ユニフォームサプライヤー

(株) アシックス、アディダスジャパン (株)、(株) ウインスポーツ、(株) エスエスケイ、(株) カレッジリーグ、(株) ゴールドウイン、(株) デサント、(株) ドーム、(株) ナイキジャパン、プーマジャパン (株)、(株) フェニックス、(株) ポリウム、(株) マイノリティー、ミズノ (株)、ヨネックス (株)、(株) ロイヤル、(株) ワコール

② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグと共同事業を行う企業とともにJリーグの定款目的に賛同する企業を対象に、Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。

③ プロサッカーに関する商標等の登録・管理及びそれらを使用した商品の製作販売

-1 商標の登録・管理

Jリーグに関するマーク、デザイン等を保護するため、商標登録を行い、管理した。

-2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作販売

Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作、販売を(株)Jリーグエンタープライズ等を通じて行った。

-3 データ事業

公式試合を分析、個々のプレー等をデータベース化し、各種データを編集、販売した。
(ライセンス契約先：(株)Jリーグメディアプロモーション)

④ コンプライアンス態勢の構築

-1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス憲章、規程、マニュアルの策定

Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス憲章、規程、マニュアル策定を視野に入れ、ヒアリング等により事例検討を行った。

-2 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立

Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向け、現状把握の調査を行った。

-3 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス研修、教育の実施

Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス研修、教育を実施するにあたり、事例研究を行った。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業

-1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画

福島県にあるサッカートレーニング施設・Jヴィレッジ（(株)日本フットボールヴィレッジ）の運営に（財）日本サッカー協会と共同で参画することにより、日本サッカーの強化・普及に寄与した。また、Jリーグ関連3社への運営に参画することにより、Jリーグ経営基盤の拡大、サッカーの普及及びスポーツ振興に寄与した。

■株式保有（全株式の20%以上）をしている営利企業

名称： (株)ジェイリーグエンタープライズ
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階
資本金： 36,000,000円
事業内容： Jリーグ、Jクラブ、及びサッカー日本代表のロゴ・キャラクター等を使用した商品の開発、販売及びサブライセンスの管理、サッカーに関する広告・宣伝業務等を行う。
役員数： 9名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 26名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合： 27,000株／37.5%
保有する理由： Jリーグ経営基盤拡大等の見地から、当社の設立意義、業務形態等を勘案し、平成7年3月に増資された際に発行株式総数の33.3%を保有した。平成11年1月横浜フリューゲルス消滅に伴い、運営会社全日空スポーツ（株）の保有株式の譲渡を受け、Jリーグの保有比率は37.5%となった。平成11年3月、当社はJリーグとの間で、商品化権に関する基本契約を締結し、Jリーグ並びにJクラブの名称、ロゴ、マーク、商標

等を使用する権利を取得し、業績拡大の礎を築いた。

平成20年3月より、Jリーグ公式戦における看板運営業務並びにJリーグ主催イベント運営管理業務をJリーグより受託した。

当該公益法人と当該営利企業との関係：

役員兼任1名、業務委託及び商品化権利受領

名称： Jリーグフォト（株）
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階
資本金： 30,000,000円
事業内容： Jリーグ公式試合等の静止画像（スチール写真）を記録・保存し、質の高いサッカー写真の提供サービスを行う。また、スチール写真を一括管理することで選手・監督・コーチ等の肖像権を守る役割も担う。
役員数： 10名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 7名

当該公益法人が保有する株式数及びその割合：

240株／40%

保有する理由： 当社が静止画像を系統的に記録し、一元的に管理運用することはサッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、肖像権の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要があり、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係：

役員兼任1名、業務委託及び商品化権利受領

名称： （株）Jリーグメディアプロモーション
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス8階
資本金： 30,000,000
事業内容： Jリーグ公式試合等の映像を一元管理し、映像の記録・保存、権利等の管理を行う。また、保存されている映像を、国内外を問わず、ニーズに応じて様々な形で提供し、Jリーグの広報・サッカーの普及活動に繋げる。
役員数： 9名
代表者： 中野 幸夫
従業員数： 16名

当該公益法人が保有する株式数及びその割合：

204株／34%

保有する理由： 当社が映像資料を系統的に記録し、一元的に管理運用することは、サッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、諸権利の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要があり、当社の株式保有

と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係：

役員兼任1名、業務委託及び放映権料受領

-2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務

スポーツ振興投票の実施等に関する法律に基づき、スポーツ振興投票対象試合開催機構としての指定を受け、同法に定められた範囲内での業務を行い、日本のスポーツ振興に寄与した。